

日 時 平成21年4月26日 午後2時8分キックオフ（快晴）
会 場 綾町錦原運動公園
相 手 ラ・モーナ
結 果 2－3（2－1、0－2）
得点者 黒田2
内 容 光明：またもや逆転負け！

今年度のリーグ戦が開幕。相手はラ・モーナ。昨年は2－0からの逆転負けで、結局全く同じ展開に、。

（前半）

6分：渡部、中央からフリーでシュートするもGKの好守に阻まれる

11分：左から切り込んだ藤田から中央の黒田にパス。そのままシュート。先制点。12

分：中園からのクロス後、ごちゃごちゃして黒田へと渡り、豚インフルシュートをゴールに押し込む。2点目。

16分：緒方→黒田→緒方と渡り、フリーでシュートするもゴール枠外へ。

26分：カウンターから右サイドを破られ1失点

（後半）

最初から中盤を支配され、押し込まれ気味。中央から長いパス1本での単純な攻撃ながら、ボディーブローのようにフェニックスの体力を削っていった。

14分：中央突破され、シュートされるもGK久保が左手一本ではじく。

15分過ぎ：CK、FKと次々と襲うシュートを守備陣が我慢強く跳ね返すも25分過ぎ、右サイドをドリブル突破しようとする相手を倒し、PKを与え、同点とされる。これで、集中力が切れたのか、直後の26分、キックオフからのボールを奪われると簡単に左サイドを突破されあっさり、逆転された。

その後は、奮起して連続攻撃を仕掛けるものの、決めきれず、ロスタイムには、カウンターで守備陣が抜かれ、Gkと1対1となるも、久保GKが見事にセーブ。直後、むなしくも、試合終了の笛を聞くこととなった。

早い時間に2点取った攻撃は、課題はありますが結果としては及第点。問題は、ディフェンス。悪いところが全て出ました。

1失点目：プレッシャーの甘さ、マークの甘さ→ファーストディフェンダーがパスの出所を押さえる。特にカウンター時には逆サイドのマークに気を配る。

2失点目：スピードの欠如

3失点目：スピードの欠如、カバーリングの甘さ→ラインを作るときと、カバーリングを優先する時のメリハリをつける。

それと、声は出ていたものの、勝利への執念が薄い。序盤にリードしたことで、自分たちは相手より強い、という油断もあったかもしれません。取りに行く決めてたらもっとガ

ツガツいくべき。渡部くんが一人、闘っていたように見えました。

あと、やっぱりスピードでは若者には勝てません。今後の練習で、ワンサイドカット等も含めてピンチを未然に防ぐ組織的な守備の完成度を上げていきましょう。

<個人的なコメントを少々>

久保：雲隠れした谷之木大明神に代わり好セーブを連発。

瀬戸山：初出場も無難にプレー。早く慣れて積極性がほしい。脱いでほしい。

渡部：またもジンクスに勝てず。今年はトリニータの調子も悪い、、。厄払いが必要？

あと、珍プレーも随時募集中です。こちらの練習もお忘れ無く！

参加者

<先発>

FW（黒田、藤田）

MF（緒方、渡部、瀬戸山、赤野）

DF（工藤、久保野、三井、中園）

GK（久保）

審判 主審：新立、副審：赤野、鳥原

監督等 日高、高妻

応援 黒木、稲用、マッチョ越智